

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

きやまRESASデジタルアカデミー事業

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

佐賀県三養基郡基山町

## 3 地域再生計画の区域

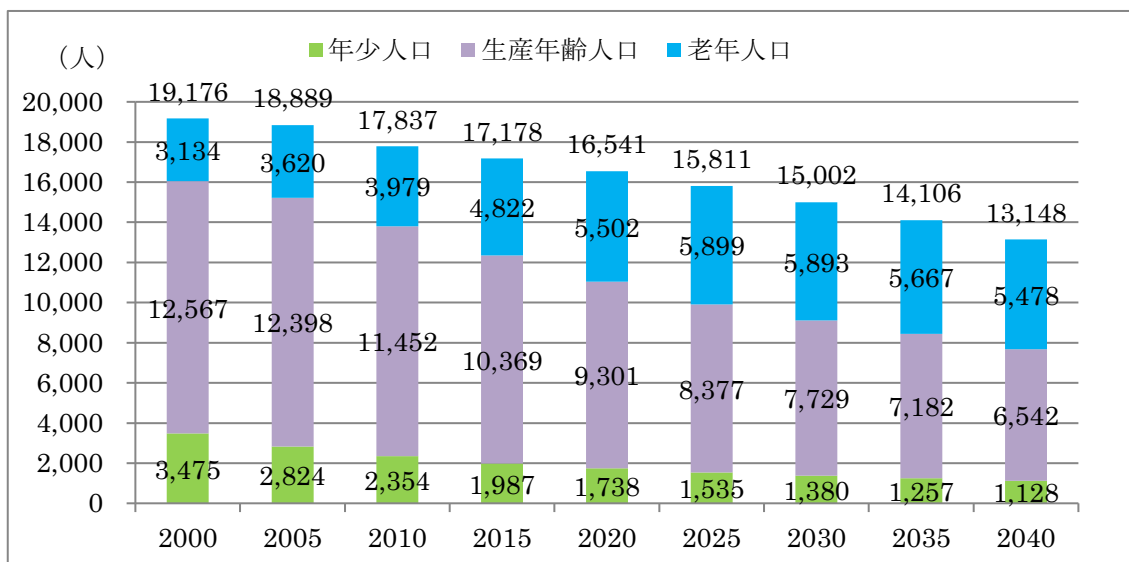
佐賀県三養基郡基山町の全域

## 4 地域再生計画の目標

基山町は、福岡県筑紫野市と小郡市に隣接する佐賀県の東の玄関口で、国道3号、九州縦貫自動車道、JR鹿児島本線が通る九州の交通の要衝となっている。そのため、これらの地の利を活かし企業誘致を進めるとともに、福岡都市圏のベッドタウンとして発展してきた。基山町の総人口は、2000年の19,176人をピークに減少傾向となり、2010年には17,837人となっている。特に15歳から34歳の若年層の転出割合が高い状況にあり、これは高校や大学等への進学又は就職、結婚等が要因と考えられる。また本町の合計特殊出生率(1.25:H20~H24)は、国県の平均に比べて特に低い状況にあり、年少人口割合の低下など少子化が進んでいる。更に今後は老年人口割合が急激に上昇することが予測されている。このため、若年層の町外への流出を抑制し、町内への転入を促進していくことが喫緊の課題である。

【参考】年齢3区分別人口の推移と将来推計

年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)、老年人口(65歳以上)



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年(平成25年)3月推計)」

このような中、基山町では平成28年4月に基山町立図書館を新設し、多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、地域情報拠点かつ交流人口拠点としての機能の充実を目指している。平成29年1月には目標としていた年間8万人の来場者数を

上回って、約9か月で10万人目の来館者を迎えた。

基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策の一つに「まなびの場を活かしたまちづくり」を掲げ、多様な資料等を提供し、様々な題材をテーマにした講演会や交流会等を行い、多世代を交えた学びの機会を創出するとともに、これからの社会に必要な情報・スキルを学び、町民同士が向上し合うアカデミックサロンの構築を目指し、新たな事業に取り組んでいる。

本計画では、町立図書館にIT機器等の整備を進め、地方創生の実現に向けて提供されるRESAS（地域経済分析システム）などのビッグデータを活用したデジタルアカデミー事業を展開し、ITスキルを用いて地域課題を分析・解決する町民の育成を図る。生活に必要な地域情報の提供を基盤に専門資料や関連データベースなどを利活用し、将来的に就労や起業に役立つ町民のITスキルを向上させるとともに、地域の課題分析や解決策を提案する機会を創出し、町民自らがRESAS等を活用し、経験と勘だけでなくデータに基づいて考え道を切り開く、21世紀のまなびの場に相応しいアカデミックサロンとしての魅力づくりを進め、町の活性化を目指す。

#### 【数値目標】

事業	デジタルアカデミー事業	年月
KPI	地域の課題解決プラン提案数	
申請時	0件	H29.3
初年度	3件	H30.3
2年目	3件	H31.3
3年目	3件	H32.3

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

ITスキルを用いて地域課題を分析・解決する町民を育成し地域を活性化するため、町の地域情報拠点かつ交流人口拠点である町立図書館で、「きやま RESAS デジタルアカデミー事業」や趣味の場からプチ就労への準備事業である「ようこそ井戸端会議へ！プロジェクト」を実施する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：きやまRESASデジタルアカデミー事業

(2) 事業区分：人材の育成・確保

(3) 事業の目的・内容

(事業の目的)

基山町の地域情報拠点かつ交流人口拠点である基山町立図書館を通じ、地方創生

の実現に向けて提供されるRESAS（地域経済分析システム）にて、ビックデータを活用した情報の収集と地域課題の分析、解決のためのプランを提案するなど、町民の地域課題解決力の習得を目指す。

また、同時に21世紀に必須となるITスキル（SNS等情報発信スキルやプレゼンテーションツール活用のスキル）の習得を図り、将来の町を支えるITスキルのある人材を育て、地域の活性化を目指すとともに、ITを活用する人材育成に力を注ぎ、創業者支援、地域経済の活性化を見据えた魅力ある町としてアピールすることにより、若者の定住促進を図るとともに移住者の定住促進を目指す。

#### （事業の内容）

地域情報拠点かつ交流人口拠点である基山町立図書館にIT機器を整備し、ITスキルアップのための講義をはじめ、各種データベースやRESASを活用した情報収集と地域の課題分析、解決プランの立案講義等を開催し、地域人材の育成を推進するとともに町の活力増進を図る。中学生から大人までを対象としたビックデータ利活用の講習会等を実施し、参加者はRESASを活用した地域の課題解決プランの立案講義を受講後、習熟度に応じた課題解決プランを作成する。提案された課題解決プランは、町の施策として積極的に活用を検討する。

#### →各年度の事業の内容

##### きやまRESASデジタルアカデミー事業

###### 初年度)

事業のために必要なパソコン等のIT機器等の整備を行い、事業を運営する委託業者を選定し契約締結後に事業に着手する。事業は6月から1月の期間に実施し、年度末に事業結果の検証を行い、次年度に向けた取り組み方針を決定する。

###### 2年目)

前年度から引き続き事業を実施する。年度末に事業結果の検証を行い、次年度に向けた取り組み方針を決定する。

###### 3年目)

前年度から引き続き事業を実施する。年度末に事業結果の検証を行い、次年度に向けた取り組み方針を決定する。

#### （4）地方版総合戦略における位置づけ

基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、基山町の歴史的観光物である基肆城跡や長崎街道など、郷土の先人たちより守り受け継がれてきた誇りある歴史的文化を保全し、郷土愛の醸成や次世代への継承の取組みを継続しつつ、これからの情報化社会に対応するため、基山町立図書館を多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、地域情報拠点かつ交流人口拠点としての機能の充実を図ることとしている。

総合戦略の基本目標「⑤自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり」を達成するための、具体的な施策及びKPIとして、「図書館による多様な学びを基盤

としたアカデミックな人材育成事業（データベース利用者数：1,500人、イベント参加者数：1,200人（H31年度）」、「図書館による地域情報発信事業（図書館への来館者数：85,000人、HPへのアクセス数：11,000人（H31年度）」を定めており、本事業は目標達成に直接寄与するものである。

**(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

事業	デジタルアカデミー事業	年月
KPI	地域の課題解決プラン提案数	
申請時	0件	H29.3
初年度	3件	H30.3
2年目	3件	H31.3
3年目	3件	H32.3

**(6) 事業費** (単位：千円)

デジタル アカデミー事業	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計		2,600	600	600
区分	需用費	550	100	100	750
	委託料	540	500	500	1,540
	備品購入費	1,510	0	0	1,510

**(7) 申請時点での寄附の見込み**

年度	H29			計
法人名	金属精製業者	空調機器 メーカー	精密機器 メーカー	
見込み額（千円）	100	300	300	700

**(8) 事業の評価の方法（PDCA サイクル）**

(評価の手法)

事業の KPI について、基山町まち・ひと・しごと創生推進会議により事業結果を検証し、改善点を踏まえて事業手法を改善することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度3月末時点の KPI の達成状況や効果などについて、事業実施担当課が確認し、外部有識者等により構成された基山町まち・ひと・しごと創生推進会議により検証のうえ、次年度以降の施策にフィードバックする。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに基山町ホームページ、情報公開コーナーにて公開する。

## (9) 事業期間

平成 29 年 4 月から平成 32 年 3 月まで

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

##### (1) 趣味の場からプチ就労への準備事業

内 容 子育て世代を対象にした、多世代交流の場を設けたワークショップや子育て経験者が講師となり「知りたい、学びたい、触れたい」と思う講座の開催

実施主体 基山町

実施期間 平成 28 年度～平成 30 年度

##### (2) 子育て環境づくり「カフェの集い」事業

内 容 子育て世代を対象にした「つどい・語る」場や交流を図れるようなワークショップや講座の開催

実施主体 基山町

実施期間 平成 28 年度～平成 30 年度

##### (3) 図書館アカデミックサロン「プログラミング教室」事業

内 容 小学 5 年生以上を対象に図書館の本を読み説きながら、簡単なプログラミングを作成する。

実施主体 基山町

実施期間 平成 28 年度～平成 31 年度

##### (4) 基山町創業支援事業

内 容 ビジネスゲームで企業経営を疑似体験し、マーケティングやマネジメントなどを学ぶ。町の創業支援制度の紹介も行う。

実施主体 基山町商工会

実施期間 平成 28 年度～平成 31 年度

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業の KPI について、基山町まち・ひと・しごと創生推進会議により事業結果を検証し、改善点を踏まえて事業手法を改良することとする。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度（7月予定）に外部有識者等により構成された基山町まち・ひと・しごと創生推進会議による効果検証を行い、取り組み方針を決定する。

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに基山町ホームページ、情報公開コーナーにて公開する。